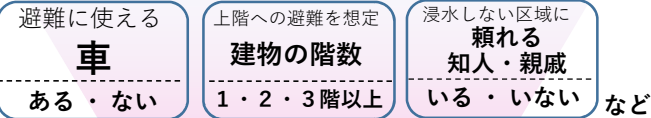


長岡方式の避難行動（信濃川）のイメージ

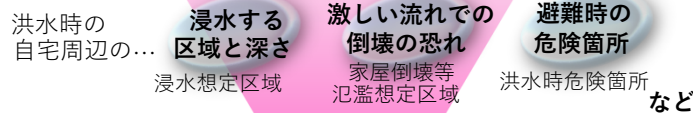
令和5年4月1日現在

1 避難行動判定フロー

① わが家の特徴を確認



② 地図で自宅の危険性を確認



③ 避難行動、避難先、移動手段を決定

避難先まで、想定している手段で
平時に移動して確認しておく

2 信濃川早期警戒情報

・避難の準備や早めの避難行動を促す情報として、避難情報を発令する前の警戒レベル2以下で発表

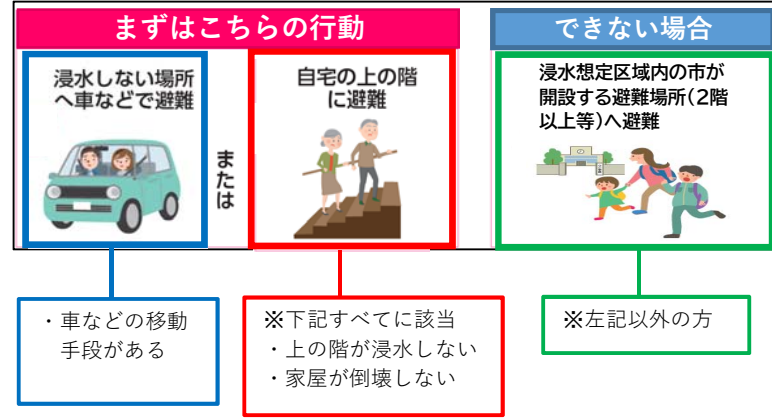
⇒浸水想定区域外の避難場所を開設



警戒レベル2以下で発表

3 長岡方式の避難行動

自宅内や車移動による安全確保を最優先に考え、市が開設する避難施設だけでない避難行動



4 避難者数シミュレーション

・避難対象者は19.8万人。
・市が開設する避難場所の収容人数は9.8万人。
・長岡方式の避難行動の実現により、避難場所への避難しか選択できない方のスペースが確保できる。

	避難先	人数(万人)
1	車等で浸水しない場所	4.8
2	自宅等の上の階	5.2
3	市が開設する避難場所	9.8

